

# SNOW KITE

全国で

盛り上がってます!!



## 日本で初めての カイトスノーボード大会...福井県六呂師

REPORT BY 赤土正剛

最初は違うのです。ただスノーカイトを皆でやってみて、うまくいきそうだったらミニ大会でもやってみたいなのりだったんですが最初に電話した相手が悪かった。新潟のバルバというカイトのお店をやっている枝村さんに話したら「思いっきり大会やしましょうよー」ということで1日目は講習で2日目は大会という事になってしまいました。私の悪い癖なんですがまずホラを吹いてしまって後から慌てて辻褄が合うように作ろうといった具合なんです。何しろ去年はあまり雪がなくて自分はスノーカイトをやった事が無かったんですから。そこでバルバ枝村さんから「簡単」という言葉を鵜呑みにしてイベントをやってしまうという事になってしまいました。(我ながら恐ろしい)それからは去年からカイトスキーをやっていたレゼール風揚げ部の小寺さんに聞いたり、ダスキンの吉岡さんに聞いたりしながらやれそうな場所を探し振興会をたずねて「全国から人が集まって地域振興になりますよー」とか牧場において仮許可をもらって自分が練習しながら正式な許可を振興会から申請してもらったり(いつもホラを吹いてから大変な思いをします。もっと堅実な性格にならんもんなー)でふたを開けてみたら北は新潟、東は千葉、南はなんと九州福岡まで(トップアウトの河部さんお疲れ様でした)総勢47名の参加者が集まってしまいました。しかもバルバチーム以外ほとんどスノーカイト初心者、前日から福井に入っていた四国はオーシャンエアーの堀上君は雪の上を転ばずに歩けるか心配する始末!!ところが当日ふたを開けてみてびっくり朝の受付の

ときにシュリロの島さんにスケータリングを習っていたのに風が吹いてパーを持ったらいきなりレイリーをかましていました。一度出来てしまえばあとは簡単、随分自信をつけてしまい「いやーあんなのはレイリーじゃ無いすよー。やっぱり頭よりしっかり上がらないとー」との発言、夜のパーティーのその後の飲み会でぶち撒いていましたが私が寝た後シュリロ島さんによると更にエスカレートして行ったらしいです。いなくて良かった(^\_^)

話は元に戻って結構皆さんスノーカイトが水の上よりずっと簡単と分かりほっとしていた様子。練習終わってふもとのスキー場のホテルに戻りすぐに救急法の講習です。私が日赤の指導員をやっている関係で日赤福井県支部より資料をお借りして例えばブラインドサイドで着地をしたら肩が抜けてしまったときの処置や鎖骨骨折の時の見分け方と処置、更に心配蘇生法をダミーを使って体験していただきました。結構皆さん身近で怪我をしている人を見ているのでいつに無く真剣でした。皆講習の終わる頃から随分おながかすいてきて速攻隣の食堂で「餓えるカムパーティー」となり(皆最初から飛ばしすぎ)他の地域の方と随分親睦を図れたようです。

さて翌日、ふもとではあまり風を感じなかったのに牧場は既に6~7m/sの風が既に吹いており慌てて皆でセッティング福井放送も取材にきていてエアーバンクの森君が1260°やってみました。つまり3回転+ブラインドで着地ですね。その後こけて引きずられたときに首がゴキッとなったらしいですがこの模様は

福井放送でオンエアされました(今度そのビデオ送るからね)。早速第一ヒートからイルミネーションを始めたのですがだんだん風が落ちてきてしまい後のほうのヒートの人はでかいインフレーターを持ち出してきてました(リアルカイトのケンちゃんあなたの事です)どうかこうにか1回戦だけは終了したのですが(ジャッジがとつても大変だった。技がでないですもん)風が弱くてカイトが上がらなくなってしまい終了、あとは熾烈なジャンケンゲームの末スリングショットのボードを手に入れたのはリアルカイトの谷内さんでした。(めちゃくちゃ運が強いね)その後解散して、下の六呂師スキー場でスノーボーやって温泉入って皆さん帰宅の途につかれたようです。今回のイベントで一番良かった事はスノーカイトがめちゃくちゃ簡単だと分かってもらえたことと今まで日本にほんの数名しかいなかったスノーカイトボーダー、カイトスキーヤーが一挙に50名近くになった事です。ねずみ講じゃありませんが鼠算式に増えていったら世の中結構面白い事になると思います。スノーボーなんて古い古い、今度俺がスノーカイト教えてやるデーとかいってオネ-ちゃんをナンパするお兄ちゃんが巷の飲み屋さんに見かけられるのを結構心待ちにしています。それから運営のお手伝いをしていただいたシュリロの島さん、ウインクルルの橋谷田(はしやだ)さん、タクーンの代理店となられたKIYOMOの岸田さんそれから地元の六呂師振興会、福井県営牧場、れぜーる風上部の皆さん本当にお疲れ様でした。

## 新スポーツ・スノーカイト 普及目指し大野でフェス

競技人口の拡大を狙い開かれた六呂師スノーカイトフ  
エステイバル18日、大野市の六呂師高原



### ▼ 正式競技は風不足で中止

四年前に日本に上陸した新スポーツ、スノーカイトの普及を目的に、第二回六呂師スノーカイトフェスティバルが十七、十八の両日、大野市の六呂師高原で開かれた。あいにく両日とも無風状態で正式競技は中止となったが、参加者はわずかに吹いた風をもらえスノーボードで滑るなどして楽しんでいた。

スノーカイトは、カイトに引張られながらスキーやスノーボードで雪上を滑るスポーツ。うまく風をもらえれば二十〜三十メートルまで飛び上がり、空中で回転したりできる。海外では人気があるが、国内の競技人口はまだまだ千人程度。

県カイトボード協会が競技人口の拡大を図ろうと昨年から全国規模の大会を実施。今回は沖縄や中部各県を中心に約二十人が参加したが、継続して風が吹かなかつたため競技は中止となった。

同協会理事で全国の輸入業者などが加盟するカイトボード振興会代表の赤土正剛さんは「今回は中止となり残念だったが、スノーカイトはけがも少なく楽しい競技。全国的に大会が少ないので、来年も開催して普及に努めたい」と話していた。今後は国内各地で実践し、底辺拡大を図るとしている。

# 第1回 スノーカイト こお~だっばらカップ

…新潟県小千谷市

REPORT BY 枝村成人

日時:平成15年2月23日(日)

場所:新潟県小千谷市小栗田原

対象者:スポーツ傷害保険等に加入の全国のカイトボードショップ及びその顧客。

内容:カイトスノーボード、スキーマのデモンストレーション及び競技会(フリースタイル)

採点方法は競技時間2時間でエアーの高さ、カイト操作、スタイル等の技を回数ではなくて、迫力で採点。

主催:新潟県スノーカイトボード振興会

協力:小栗田原(こ~だっばら)町内会

協賛:シュリロレーディング⑩・(有)レゼール・スノーボードクリニック新潟

takoon・ESKAPE・⑩新潟エマック・総合保険杉浦

目的:地域の活性化を新しいスポーツ“カイトスノーボード”もしくは“カイトスキー”によって行いかつ、このスポーツの啓蒙を行う。

参加者は

新潟県内	13人
東京都	3
神奈川	2
福井県	4
茨城県	3

合計25人

フリースタイル 成績(男)

- 1位 赤土正剛 (福井)
- 2 小寺光次 (福井)
- 3 若月孝裕 (新潟)
- 4 桑山 巧 (新潟)
- 5 松永文也 (神奈川)
- 6 山田太郎 (新潟…?)

(女)

- 1位 桑山智子 (新潟)
- 2 高橋あけみ (新潟)

特別企画のタイムトライアルでは、県内柏崎より参加の 中村正人さんが最速記録でした。なんと賞品は、カイト用スノーボードとBINのセットでした! この企画は意外に評判がよかったので次回も続きます。

25人の参加人数は、予想をはるかに上まわる数字でした。県外から参加して下さった福井の赤土さん、東京の岸さん、茨城の上野さん神奈川の松永さん、その他にも遠くから参加して頂いた皆さんが同じように熱い思いをkiteに抱いてらっしゃって、とても嬉しく感謝しております。他にもカブリナKITEの安田さんからは、ジャッジまでして頂きました。大勢の方に迷惑をかけないようにと、じみーに行なう予定でしたがこんな感じだと来年は、もっと派手にやりましょうか皆さん? ってトコです。



# 賞状

第一位 赤土正剛 殿

あなたは第一回スノー・カイト  
ふたつばら・カップフリースタイル  
競技において頭書の成績をおさ  
めましたのでその栄光をたたえ  
これを賞します

平成十五年二月二十三日

新潟県スノーカイト振興会 会長

山村 和之

